

# 第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

## 男子Bリーグ戦

山口県選抜

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 11 | 3 | — | 2 |
|    | 3 | — | 0 |
|    | 4 | — | 1 |
|    | 1 | — | 3 |

6 富山県選抜

PSO

潮崎 正一

審判：

松本千菜津

## この試合のプレー集計

|       |       |            |     |       |
|-------|-------|------------|-----|-------|
| 山口県選抜 | 17    | SH数        | 24  | 富山県選抜 |
|       | 3     | 速攻数        | 1   |       |
|       | 10    | ST・SB      | 7   |       |
|       | 8     | SH・P誘発アシスト | 0   |       |
|       | 54%   | GK阻止率      | 31% |       |
| 5     | EX反則数 | 10         |     |       |

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

## 【試合の流れ】

攻守にバランスの取れた山口と、ディフェンスに課題がある富山との一戦。富山のディフェンスがどこまで改善されているかがポイント。

### 【1P】

山口のシュートミス(富山GK⑬中園セーブ)を突き、富山が退水を誘発して②森が先制点をマーク。しかし直後に山口は退水を誘発して、②荒川が決めて同点。さらに富山ディフェンスはペナルティ反則からの失点で劣勢に。富山側が得たペナルティシュートも山口GK①清角に止められてしまい、流れは山口へ。それでも、ピリオド終了時にミドルレンジから⑥中陳が決めて点差を詰めて第1ピリオド終了(山口3-2富山)。初日より富山ディフェンスは改善された様子だ。

### 【2P】

山口の中央へのドライブ攻撃に富山はたまたま退水に。そこをインサイドに位置した⑩長野に⑫堀からきれいにパスが渡ってシュートが決まり、山口が4点目。続いて、山口はペナルティを連続して誘発し、追加点を奪う。このピリオド、山口が積極的に泳ぐようになってからは富山ディフェンスが対応できない状況が続く展開となった。山口6-2富山で第2ピリオド終了。後半、泳ぐ山口を富山がどう対応してくるか。

### 【3P】

富山の6mSHミスから山口が泳ぎ、左サイドでノーマークとなった②荒川が決めて点差を広げ、さらに山口はペナルティを誘発して6点差とする。富山もきちんとインサイド側でマークしていれば、多少はボールが回っても時間空費につながり、ディフェンス優位を保つことができるわけで、そうした場面も何度も見受けられている。ただ、富山にはそうしたディフェンスが徹底できていない点が失点に直結しているわけで、チーム全体の課題であろう。このピリオドも富山はペナルティを2本喫してしまうなど、ピリオドで山口4-1富山と点差を広げられてしまった(山口10-3富山)。

### 【4P】

山口の攻撃がやや雑になったところを富山が攻め、センター⑤田屋が退水を誘発して③荒木が決め、さらに⑩流がカウンター攻撃で連続得点。残り1分となって富山はセンター⑤田屋を残して守り、そこで得たボールを残っている⑤田屋へ。山口GK①清角は飛び出して防ごうとするが退水になり、無人のゴールに⑤田屋が放り込んで3連続得点と差を詰めたが時すでに遅く、山口11-6富山で試合終了。

勝利した山口は決勝トーナメント進出が決まり、富山は1勝もできないまま予選リーグ敗退。

富山は勢いが出れば第4ピリオドのように強豪相手でも十分に戦えるが、試合はきちんとしたディフェンスからが基本だ。水球はショットクロック制度という時間制限のある攻撃機会ということから、ディフェンスの考え方としては相手にどんどん攻撃時間を空費させるような守り方がポイントとなる。つまり、シュートに直結するようなパスを防ぎ、シュートにつながらないポジションや選手へパスを投げさせるような守り方が重要だ。富山の今後の成長に期待したい。